

令和2年 6月11日

保護者の皆様へ

いわき市立勿来第二小学校長 大平 孝憲

今年度における本校の水泳授業の取扱いについて

向暑の候、保護者の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先月より通知待ちをしていました「今年度の水泳授業の取扱い」につきまして、スポーツ庁政策課学校体育室より通知が届きましたのでお知らせするとともに、本校における今年度の水泳授業につきまして、次のように取扱いますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 スポーツ庁からの通知文（一部抜粋）

体育は実技を伴う教科であるため、特に児童生徒の健康と安全を第一に考えて、学習の内容や形態、授業の実施場所や時期等を総合的に考慮しながら、感染リスクへの対策が必要である。

学校プールについては、学校環境衛生基準に基づき、プール水の遊離残留塩素濃度が適切に管理されている場合においては、水中感染のリスクは低いと推測される。一方で、水泳の授業においては、児童生徒の密集・密接が想定されるため、様々な感染リスクへの対策を講じる必要がある。

このため、児童生徒の健康と安全を第一に考えて、地域の感染状況を踏まえ、密集・密接の場면을避けるなど、感染予防の対策を講じることを前提として、水泳の授業を実施することは差し支えない。

2 水泳授業の留意事項

- (1) プール水の遊離残留塩素濃度が、プールのどの部分でも基準の濃度（ $\text{ph}0.4 \sim 1.0$ ）となるようにする。また、児童が触れたドアノブやシャワー、洗顔器の水栓等をこまめに消毒する。
- (2) 毎朝の検温、学習前の児童の健康状態を把握し、体調が優れない場合は水泳授業を見合わせる。また、見学する児童にはマスクを着用させ、密集を避けるようにする（熱中症対策も講じる）。
- (3) 授業中、児童に不必要な会話や発声を行わないように指導する。また、プール内外において、児童同士の間隔を1～2m確保するようにする。
- (4) 授業中、児童が手をつないだり体を支えたりする密接は避けるとともに、ビート板等は使いまわしせず、使用後に消毒する。
- (5) 水泳授業において、プールサイドで行う人数確認は事故防止の上で重要であるが、バディ（2人組等で手をつなぐ）は組まずに、例えば距離をとって挙手させる等の手立てを講じる。
- (6) 更衣室等は密集を避けて使用する（教室等での着替え）とともに、タオルやゴーグル等の貸し借りをしないようにする。

【今年度の本校の水泳授業】

本校では、今年度の水泳授業を、上記の通知文及び留意事項を考慮し、子どもたちの安全第一を優先しながら、感染予防に万全を期して実施いたします。

○ 実施期間 **令和2年7月2日（木）～ 7月30日（木）** **（各学級、1週間に1.2回程度）**

※1 今後、学年だよりや連絡帳をご覧になり、準備物等の用意をお願いいたします。

※2 水泳授業について、不明な点や相談がございましたら、学校（教頭）又は担任までご連絡ください（TEL 65-2622）。